


業種	ソフトウェア開発
活用分野	訪問介護業務の効率化
テクノロジ	ICカード(NFC)
端末	スマートフォン 

# 訪問介護業務の効率化に貢献 NFC機能で端末操作の簡便化を実現

高齢化社会に欠くことができない介護ビジネス。訪問介護サービス事業者のビジネスをサポートすべく、石川県金沢市でソフトウェア開発を手がけるロジックは2011年4月、スマートフォン/タブレットを用いたクラウド型の業務支援システム「Care-wing（介護の翼）」の提供を開始した。

「訪問介護事業者からシステムの相談を受けたことをきっかけに、この領域への挑戦を決断しました」と、代表取締役社長の和田森久志氏は背景を話す。

年配者の多いヘルパーが楽に使いこなせるよう、NFC（近距離無線通信）を利用してICカードから情報を読み取り、端末操作を大幅に簡便化した点が特徴だ。

## ICカードを読み取るだけで スマホでの情報確認が可能に

訪問介護ヘルパーは非常勤の登録スタッフが主で、自宅からの直行・直帰が多いため、ヘルパー同士や管理者との情報共有——予定の確認、

作業の開始・終了や内容の報告などがなかなかスムーズに行えない。

そこでロジックは、スマートフォン向けアプリとクラウドにより現場からの情報を一元管理するシステムを構築。さらに、自社製のBluetooth対応NFCリーダーを組み合わせて、ICカードから各種情報を読み取り端末上に表示できる仕組みを盛り込んだ（スマートフォンに標準装備されたNFC機能でも対応可能）。

ヘルパーは、名札代わりのICカードをスマートフォン（NFCリーダー）にかざすだけで、当日の訪問予定や作業指示書、作業履歴、申し送り事項を確認できる。

さらに、ユニークなのは、ヘルパーの操作をより簡潔にするため、訪問宅にICカードを貼り付けた点。ここにスマートフォンをかざすことで、開始・終了の報告と作業内容の再確認が自動的に行える。作業記録は端末画面からの簡単な入力で、特記事項は音声入力でも可能。終了後のICカード読み取り操作で記録データを



ロジック 代表取締役社長 和田森久志氏(写真左) 同 取締役企画部長 木田幸恵氏(右)

サーバにアップできる。

一方、管理者側はサーバ上のデータから各ヘルパーの業務をリアルタイムに確認できる。しかも、月末に集中する集計・保険請求といった事務処理も自動化できるため、業務負荷が大幅に軽減される。

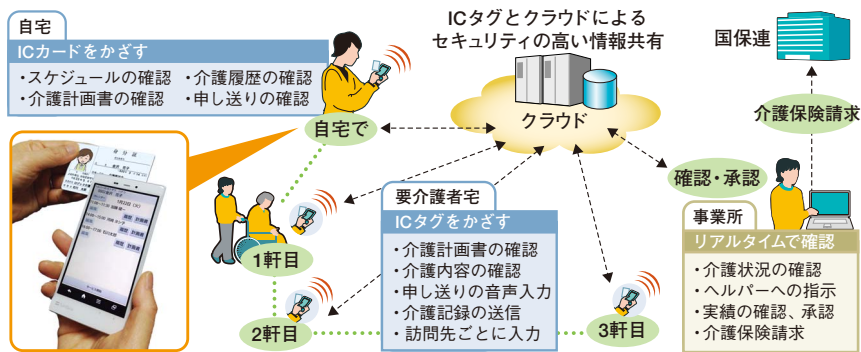
## 訪問介護にとどまらない需要 サービス品質向上にも効果

「Care-wing」の導入実績は、関東地域や大都市圏を中心に全国へと広がっている。また、「訪問介護事業者だけでなくサービス付き高齢者住宅、訪問看護事業者、社会福祉協議会などへも導入が進んでいます」と、和田森氏は話す。

導入先では、「初めはヘルパーからの異議・抵抗がありますが、使い始めると業務が楽になることがわかり、手放せないツールとして高評価をいただけます」と、取締役企画部長の木田幸恵氏は説明する。

効果は現場業務・管理業務双方の効率化に加えて、報告書や記録伝票などの用紙代・印刷費、交通費や通信費の削減、介護サービスの品質向上や平準化にも及んでいるという。

図 「Care-wing（介護の翼）」による介護業務のサポート



### Profile

株式会社ロジック <a href="http://www.logic-is.co.jp/">http://www.logic-is.co.jp/</a>	本社所在地	石川県金沢市新保本3-21	事業内容	パッケージソフト・モバイルアプリ開発、クラウド/Webサービス提供など
	設立	1995年4月		
	資本金	3710万円		